

### 3 確かな学力

具体的な内容		自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員(学校評議員)のコメント
意欲的に学習に取り組む「分かった・できた」を実感している	前期	おおむね良好	おおむね良好	子ども同士が話し合って学習を進めており、個々に考える力が付いてきている。今後も、自分たちで考える楽しさを感じさせてほしい。今の時代は、自分で黒板を書き写さずに写メで保存するなど、便利で手軽な風潮になっている。そんな時代だからこそ、ノートをしっかりとるなど、自分で考えて書ける子どもに育ててほしい。
	年度	おおむね良好		
評価指標			主な取り組み	自己評価B 前期 年度
⑤自分の思いや考えをもち、生き生きと伝え合う児童の育成			ねらいとゴールの明確化 振り返りの充実	3 3
			学び合いの場(アップタイム)の工夫	3 3
⑥基本的学習習慣の形成、家庭学習と読書の習慣化			学団別学習の約束、学習ステップアップ、話型・聴型、ノート展、声のものさし	3 3
			家庭学習の習慣化、家読書、読書タイム・読み聞かせ	3 4

学校の改善策	【前期→年度】	⑤児童アンケートからは、集中して学習に取り組むこと、勉強がよく分かるという項目のポイントが高くなっている。学習のねらいや振り返り、学び合いの工夫についての教師の評価も高くなっている。授業に対する取組は全体的によくなっているといえる。付きたい力や授業でのねらいを明確にして今後も授業改善を図っていききたい。 ⑥毎月の生活目標への取組として、学級や個人で振り返りができるカードを準備した。目標への意識付けはできたと思うので、基本的な学習ルールが身に付くように声をかけ続けていきたい。読書に関しては、ボランティアの皆さんの読み聞かせがありがたい。本が好きな子どもが増えるように読書の機会を保証してあげたい。読みの力はやはり読書なので、家読書以外でも本を借りる子どもが増えるように何か企画を考えていきたい。
	【年度→次年度】	⑤付きたい力を明確にした授業を進めていくことは、今後も継続して考えていきたい。平元小の授業スタイルを全教員が理解した上で授業を進めていけるような取組や、次の学習に生かせる振り返りの充実を図りたい。 ⑥ノート展では、付箋をはる活動を設定することで、お互いのノートを見合い、友達のいいところを自分の一人勉強ノートに取り入れている子どもがいた。来年度も継続して行ってきたい。家庭学習は身に付いている子どもが多い。なかなか取り組むことができない子どもへの声かけを考えていきたい。グループノートは効果的だったという意見が多かったので、来年度も2学期に行いたいと思う。3学期からは月曜日を朝読書にした。読書に触れる機会を増やしたいので、来年度も継続していきたい。

#### 【各種データ】

保護者アンケート		前期		後期	
		平均	肯定率	平均	肯定率
③	子どもは、学習の内容を理解している。	3.1	79	3.2	87
④	子どもは、家庭学習の習慣ができています。	3.1	78	3.3	87
⑤	子どもは、楽しんで読書をしています。	3.0	63	3.1	71
⑬	授業は分かりやすく工夫されている。	3.5	98	3.5	98

児童アンケート		前期		後期	
		平均	肯定率	平均	肯定率
①	授業中は先生の話をよく聞いて、集中して取り組んでいますか。	3.7	94	3.8	100
②	授業中は、できるだけ自分の考えを発表するようにがんばっていますか。	3.5	86	3.5	91
③	勉強に使うものは、忘れずにきちんと持ってきていますか。	3.6	94	3.6	96
④	学校の勉強はよく分かりますか。	3.6	91	3.7	96
⑤	家庭学習を毎日続けていますか。	3.9	97	3.9	100
⑥	読書をするのが好きですか。	3.5	91	3.6	94

職員個人評価		前期		後期	
		平均	肯定率	平均	肯定率
⑤	ねらいとゴールの明確化 振り返りの充実	3.0	100	3.3	100
⑤	学び合いの場(アップタイム)の工夫	3.0	89	3.3	100
⑥	学団別学習の約束、学習ステップアップ、話型・聴型、ノート展、声のものさし	3.0	89	3.2	100
⑥	家庭学習の習慣化、家読書、読書タイム・読み聞かせ	3.2	100	3.7	100

自己評価A及び外部評価の評価区分
○きわめて良好
○良好
○おおむね良好
○やや不十分
○努力を要する

自己評価Bの評価基準	
5	実現状況は極めてよく意識も高い／達成率91%以上、前年度比108%以上
4	実現状況は良好で意欲もある／達成率80~90%、前年度比103~107%
3	実現状況は概ね良好／達成率60~79%、前年度比98~102%
2	実現状況はやや不十分で取り組みが不安定／達成率50~59%、前年度比93~97%
1	実現状況は不十分で努力を要する／達成率49%以下、前年度比92%以下